

# 登 山

専門委員長 山 田 修



## 1. 県高校総体

県高校総体は、菅生(旧いやしの温泉郷)～三嶺～旧名頃小学校のコースを採用し、6月3日から6月5日までの3日間の日程で行われました。

男子7校、女子2校の参加で、四国大会及びインターハイの出場権を懸けて開始されました。

1日目はつるぎ高校に集合し、諸会議と開会式の後、テント設営、知識、天気図、炊事などについての審査を実施しました。天候にも恵まれ、予定通りの日程を消化することができました。今年から新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたことを考慮して、通常の収容人数でテント泊を実施しました。

2日目は4時に起床し、バスで菅生(旧いやしの温泉郷)へ移動後、登山行動が開始されました。今年のコースは距離こそ短めですが、終始登りの傾斜の厳しいコースでした。このような状況の中でも選手達は粘り強く行動し、すべてのチームがゴールである旧名頃小学校まで怪我なく下山できました。厳しいコースを歩き終え選手・監督とも安堵の表情を浮かべていました。

最終日は旧名頃小学校からバスで塔丸登山口まで移動し、塔丸のピストン行動でした。このコースは前日のコースに比べると傾斜は緩やかですが、選手たちは審査のことを考えると最後まで油断できない緊張感を持って行動していました。

大会がすべて終了し、バスでつるぎ高校まで下山後、閉会式、表彰式が行われました。結果は男子はつるぎ高校が4年ぶり7回目の優勝、女子は池田高校が4年連続18回目の優勝でした。四国大会には男子がつるぎ・池田・城ノ内、女子が池田・城ノ内の計5パーティーが出場となりました。

## 2. 四国高校選手権

6月16日から18日まで、第65回四国高等学校登山選手権大会が高知県で開催されました。

1日目は高知工業高校に集合し、諸会議と開会式、知識、設営、炊事審査を行いました。炊事審査に関しては

感染予防対策で実際には行わず、簡単な物品のチェックだけの審査としました。そして、やはり感染予防対策でテント泊はなくし、宿泊先である亀の井ホテルにバス移動して1日目を終えました。

2日目は6時に起床、バスで北谷登山口に移動し、8時に行動開始しました。厳しい傾斜を含めた、アップダウンがあるコースでした。男子2チーム、女子1チームが行動離脱してしまいましたが、大きなトラブルもなく山行を終えることができました。

大会3日目は亀の井ホテルから仏ヶ峠までのピストンコースでしたが、登山口から5分のところで、選手団がハチの集団に襲われ、選手11名、役員2名が刺され、大会本部の判断で、行動を中止・全員救急搬送することにしました。この迅速な対応により、全員が軽傷にとどまらせることができました。ハチに襲われた場所は、直前に役員も通過・確認しており、その際は危険と判断できる要因は皆無だったことを考えると、この事故は突発的なものであり、予見は極めて困難だったと考えられます。最後に大きなトラブルがありましたが、四国大会を終えることができました。

結果は、男子は松山南高校が、女子は池田高校が見事優勝を果たしました。徳島県勢は、男子池田3位、城ノ内が4位、つるぎが12位で、女子池田が優勝、城ノ内が6位でした。

## 3. インターハイ

インターハイは8月7日から8月11日まで北海道東川町の大雪山山域で開催され、北海道最高峰の旭岳(2290.9m)や十勝岳(2077m)、北鎮岳(2244m)が大会コースになりました。去年は、新型コロナウイルス感染防止のために炊事、テント泊のない大会でしたが、今大会はコロナ禍前の審査内容に戻しました。ただし、毎朝の体調管理等は念入りに行いました。それでも、感染者が複数名出てしまいましたが、北海道の役員の方々の方々の御尽力の賜物で、立派に大会を終えることができました。

成績はA隊(男子)つるぎ高校が25位となり、B隊(女子)池田高校は6位と前回の8位より順位をあげ、見事入賞することができました。

#### 4. 県高校選手権

夏も終わり3年生が引退し、新メンバーで臨む登山選手権大会が、池田高校三好校を幕营地として9月23日より2日間行われました。

この大会は、高校登山競技の基本を学ぶための研修も兼ねている大会でしたが、昨年までは密を避けるために研修は行わず、審査のみとしましたが、今年は研修を復活させました。

2日目は、4時起床後、6時からの山行で、読図、装備、行動記録、マナーの審査を行いました。さほどコースも厳しくなく、サブザック行動であったため全員無事に踏破することができました。結果は男子は城西高校が26年ぶり4回目の優勝、女子は池田高校が3年連続11回目の優勝となりました。

#### 5. 県高校新人登山

新人大会は11月18日より2日間、小松島西高校勝浦校を幕营地として、鶴林寺山コースで行われました。テント泊や全審査、コロナ禍前のもと同様の日程を組んで大会を予定しましたが、前日の雨の影響でグラウンドが悪く設営審査、並びにテント泊ができませんでした。2日目の行動は、前年度の新人大会に引き続き、制限時間は厳しく設定しましたが、各チームしっかり対策しており、ほとんどのチームが目標時間内に登頂することができました。結果は男子はつるぎ高校が2年連続6回目の優勝、女子は池田高校が3年連続9回目の優勝となりました。

今年度も、校務でお忙しい中、大会運営に携わり参加していただきました各校の顧問の先生方、高体連から御助力くださる先生方、御協力ありがとうございました。各校とも部員獲得で苦勞されている中、おかげさまで、多くの選手に恵まれ、活気のある大会を開催することができました。

最後になりましたが、会場として施設を使わせていただいたつるぎ高校、池田高校三好校、小松島西高校勝浦校にお礼申し上げます。

#### ◎県高校総体 令 5. 6. 3～5

於 三好市 三嶺・塔丸コース

##### <団体男子>

優勝	つるぎ	97.1点
2位	池田	97.0点
3位	城ノ内	96.6点

##### <団体女子>

優勝	池田	99.2点
2位	城ノ内	93.0点

#### ◎四国高校選手権 令 5. 6. 16～18

於 高知県 鷹羽ヶ森、仏ヶ峠コース

##### <団体男子>

3位	池田	97.6点
4位	城ノ内	97.0点
12位	つるぎ	52.4点

##### <団体女子>

優勝	池田	98.6点
6位	城ノ内	93.5点

#### ◎インターハイ 令 5. 8. 7～11

於 北海道東川町 旭岳、十勝岳、北鎮岳山城

団体男子 (A隊)	つるぎ	94.3点	25位
笠井友太・川人海晟・井川京介・東端遙叶			

団体女子 (B隊)	池田	98.5点	6位
大西ヒカル・山口佳乃・近藤青歌・篠原ひなた			

◎県高校選手権 令 5. 9. 23・24

於 三好市池田 箸蔵山山城

<団体男子>

優勝 城 西  
2位 池 田  
3位 阿 南 光

<団体女子>

優勝 池 田  
2位 城 ノ 内

<個人男子>

優勝 阿部 武琉(城西)  
2位 東端 遙叶(つるぎ)  
3位 鶴飼 慎平(池田)  
4位 田村 涼(城西)  
5位 久米 功真(阿南光)

<個人女子>

優勝 篠原ひなた(池田)  
2位 井上 蒼衣(池田)  
3位 飛梅 芙來(城ノ内)  
4位 清水 悠羽(池田)  
5位 屋代 日向(城ノ内)



登山行動の様子 つるぎ高校男子 (県高校総体)

◎県高校新人登山 令 5. 11. 18・19

於 勝浦郡勝浦町 鶴林寺山

<団体男子>

優勝 つるぎ 96.6点  
2位 池 田 95.0点  
3位 徳島市立 94.4点

<団体女子>

優勝 池 田 99.4点  
2位 城 ノ 内 96.3点

<個人男子>

1位 園田 映音(脇町)  
2位 片岡 亮太(脇町)  
3位 八坂 修斗(池田)

<個人女子>

1位 三本 楓華(城ノ内)  
2位 湯藤 花鈴(脇町)  
3位 平尾 亮子(脇町)



登山行動の様子 (県高校登山選手権)



登山行動の様子 池田高校女子 (県高校総体)



地図・記録確認の様子 池田高校女子 (県高校新人登山)